

～大地震から自分と家族の命を守る～
住宅の地震対策の「今」を知るイベント「住まいの耐震博覧会」を開催！
 9月27日（土）・28日（日）マリンメッセ福岡にて 入場無料

◆ **地震に強い家づくりを知るイベント** ◆

9月27日（土）、28日（日）の2日間、住宅用の木材・建材・住宅設備機器のメーカーや工務店などが一堂に会し、地震に強い家づくりに関する情報提供や無料相談をはじめ、住宅の省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギーといった最新技術などをご紹介します「住まいの耐震博覧会」をマリンメッセ福岡で開催いたします。



◆ **断層型地震で最大震度7、死者1,500名の被害予測も** ◆

2005年3月20日にマグニチュード7.0、最大震度6弱の福岡県西方沖地震が発生しました。この地震は、1,000名以上の死傷者と377棟の住宅全半壊という甚大な被害をもたらしました。

福岡県防災会議が2012年5月に発表した「福岡県地域防災計画」によると、県内には主要4都市（福岡市、北九州市、飯塚市、久留米市）に重大な被害をおよぼす震源断層が4つ存在します。なかでも、福岡県西方沖地震を引き起こした警固断層の南東部を震源とする地震の発生確率は、日本の主な活断層のなかでも高い水準に位置付けられています。

この地震が発生した場合、マグニチュードは7.2、最大震度は6強以上と予測されており、死者1,000名以上、負傷者22,500名、建物の全半壊約33,000棟（うち木造建物約30,000棟）の被害が想定されています。南海トラフ巨大地震の発生が切迫し、来年3月で福岡県西方沖地震から10年が経過する今、改めて「命を守る住まいづくり」への意識を高めていくことが重要です。

「住まいの耐震博覧会」では、地震による倒壊が懸念される既存不適格住宅（旧耐震基準）と新耐震基準で建てられた住宅について、耐震性能の違いについて分かりやすく解説しながら、住まいの地震対策の重要性を訴えています。

① **耐震診断や定期点検の最新機材を実演（初登場）**

ご自宅の耐震性能がその場で簡単に判断できるよう、「旧耐震基準（～1981年）」「新耐震基準（1981～2000年）」「現行の新耐震基準（2000年～）」と建築年ごとの耐震性能の違いなどを、動く耐震模型などを使って分かりやすく説明します。

ご自宅の耐震性の不安などについて、NPO法人住まいの構造改革推進協会により「耐震技術認定を受けた建築士」が無料で相談にお応えします。また、福岡市住宅都市局、北九州市建築都市局、久留米市都市建設部が出展し、耐震診断・耐震改修の流れや補助金の紹介などを行います。

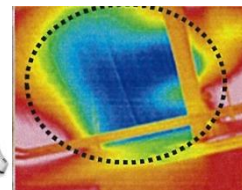
そのほか、耐震診断や定期点検に活用する最新機材が初登場します。遠隔操作で床下や天井裏の点検が可能な「ジオス・アイ・ロボット」、壁体内の温度差を測定して断熱材の有無や雨漏りなどの異常を映し出す「ハンディ・サーモカメラ」、外壁・屋根の塗料劣化やひび割れなどを正確に診断する「ワイヤレス・マイクロスコープ」を実演し、最新の耐震診断技術を紹介します。



専門家に無償でご相談いただけます



床下点検用
ロボット



ハンディ・サーモカメラ
による屋根裏の雨漏り
映像

② 2つの実物大オープン型モデル「昭和の家・今の家」を初展示

1980年以前築の旧耐震基準住宅を「昭和の家」、2014年以降の改正省エネ基準に適合した住宅を「今の家」として、2つの実物大オープン型モデルを展示します。普段あまり見ることでできない住宅の内部を見えるようにして、「耐震」「断熱」「省エネ」「バリアフリー」などの性能において、それぞれの住宅の違いをご紹介します。



「昭和の家」(1980年以前築)



「今の家」(2014年以降築)

③ 九州材の地産地消の家づくりを提案。木造の「サービス付き高齢者向け住宅」モデルも初展示

国をあげて地域材の利用が促進されるなか、日本有数の森林資源を抱える九州7県の自治体が出展し、柱と梁を組み上げた空間展示を用いて、地域材の特色や補助金紹介などを行います。さらに、「九州産素適な木の家」と題し、オール九州産材の実物大構造躯体による居室の空間演出も行うほか、各地の木を利用した工芸品や玩具などを紹介します。

「公共建築物等木材利用促進法」の施行により注目高まる木造非住宅分野では、構造躯体と内装に木材を用いた実物大「サービス付き高齢者向け住宅」のモデル展示を行います。



オール九州産材による実物大木造躯体

④ ゼロ・エネルギー住宅「ゼロエネ10」を初展示

2020年における新築住宅の標準的な性能として政府が普及を目指す「ゼロ・エネルギー住宅」の実物大構造躯体を展示します。今回は、耐震性能や省エネ性能などで最高ランクを有する「パワーホーム」のうち、最大天井高2,430mmの小屋裏(ロフト)を確保した「メザニン」タイプに、10kW以上の太陽光パネルを搭載した住宅「ゼロエネ10」が初登場します。室内は、高齢者や子育て世代に優しい高齢者等配慮対策等級最高レベルの「ユニヴェルホーム」仕様となっています。



太陽光パネル搭載の「ゼロエネ10」

⑤ 「スマートウェルネス住宅」に関する勉強会を開催(定員 各回250名)

「スマートウェルネス住宅モデル事業 勉強会」 講師：慶應義塾大学工学部 教授 伊香賀俊治氏
日時：①9月27日(土)14:00~15:30、②9月28日(日)11:00~12:30

内容：政府が成長戦略に掲げる「健康寿命の延伸」に向けた柱の一つである「スマートウェルネス住宅(多様な世代が安全・安心・健康・快適に暮らせる住宅)」について、第一線で活躍する専門家を招き分かりやすく解説します。

◆注目セミナー◆(※全セミナーのプログラムはホームページに掲載)

日時	内容	講師
27日 11:40~12:40 (事前予約制)	木材・木造建築の大きなうねり	東京大学名誉教授 有馬 孝禮氏
27日 14:00~14:30	住宅専門の弁護士に聞く、事例解説! 知っておきたい住宅トラブル	匠総合法律事務所 弁護士 秋野 卓生氏
27日 14:30~15:00 28日 11:30~12:00	間違いないリフォーム会社選び	(一社)日本住宅リフォーム産業協会

■開催概要

日時：2014年9月27日(土)・28日(日)
10:00~17:00(最終日は16:00まで)
場所：マリンメッセ福岡
入場料：無料
ホームページ：<http://www.nicefair.com/>

住まいの耐震博覧会とは

2002年からスタートし、東京、名古屋、仙台、大阪、福岡など全国主要都市で開催しています。福岡での開催は今回で11回目となります。全国での累計来場者数は147万人で、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

ナイス株式会社 広報室 宮川・堀井 TEL:(045)501-5048 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8階